

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費(円)		事業 始期	事業 終期	事業実施内容	効果検証 (具体的に数値等を記入)	担当課
				交付金 充当額					
1	越知町子育て世帯支援特別助成金事業	新型コロナウイルス感染症予防対策による小中学校の休校等による経済的負担を軽減するため越知町に在住する児童を養育する保護者に対し臨時特別の助成金を支給する。	4,436,500	4,436,500	R2.4.21	R3.1.25	越知町に在住する18歳までの児童を養育する保護者に対し、児童1人当り10,000円を助成。 郵送料 36,500円	新型コロナウイルス感染症予防対策による小中学校の休校等による経済的負担を軽減することができた。 対象児童440名×10,000円=4,400,000円 受給世帯数258世帯	住民課
2	公共的空間・安心安全確保事業	庁舎における感染症予防のために、消毒液、空間除菌器を設置	1,131,476	1,131,476	R2.4.16	R3.3.22	消毒液、フェイスマスク、加湿空気清浄機(11台)、サーキュレーター(13台)、非接触検温器(2台)等を庁舎に設置	庁舎における新型コロナウイルスの感染を防ぐため、消耗品・備品を購入。 1日2回の庁舎内消毒やサーキュレーターを使用して換気を行い利用者、職員のクラスター等の感染拡大防止対策と感染リスクの低減対策を行っている。 R4.12月現在 職員内で約50件の感染及び濃厚接触者が発生しているが庁舎内でのクラスターは発生していない	総務課
3	公共的空間・安心安全確保事業	町民バス利用者へのコロナ対策(車内のウイルス駆除)	311,850	311,850	R3.3.15	R3.3.19	町民バス(予備車両含む)の車内に除菌コーティングを実施	コーティング実施の町民バスを利用することで運転手や利用者間でのコロナ感染症拡大防止対策となり、町民バスが原因となるコロナ感染者は発生していない。 年間利用者(R2:延べ4,627人・R3:延べ4,674人・R4:10月末延べ2,665人)	総務課
4	公共的空間・安心安全確保事業	感染症予防のために、集会所等に消毒液、加湿空気清浄機を設置	2,415,204	2,415,204	R2.11.20	R3.2.2	消毒液、加湿空気清浄機を集会所(45カ所)に設置	集会所(45カ所)における新型コロナウイルスの感染を防ぐため、消毒液・加湿空気清浄機を購入したことより、集会所の利用が原因でのクラスターは発生していない。	総務課
5	社会システム維持のための衛生確保事業	ゴミステーションに鉄製カゴを設置し、猫や鳥獣などによるゴミ袋の散乱を防ぐことで、感染症拡大防止対策を図る。	524,000	524,000	R2.6.16	R3.3.31	ゴミステーションへの鉄製カゴ(10カ所)の設置	町内10カ所のゴミステーションへ鉄製カゴを購入。 動物によるゴミの散乱が原因となった収集業者等へのクラスターは発生していない。	総務課
6	社会システム維持のための衛生確保事業	ゴミステーションにカラス等の鳥対策のネットをかけ、散乱を防ぐことで、感染症拡大防止対策を図る。	328,900	328,900	R2.6.24	R2.10.19	ゴミステーションにカラス等の鳥対策のネット(100ネット購入)	町内25カ所のゴミステーションにカラス等の鳥対策のネットを購入。 動物によるゴミの散乱が原因となった収集業者等へのクラスターは発生していない。	総務課
7	公共的空間安全・安心確保事業	新型コロナ感染症感染防止対策のため、車輛、施設に加湿空気清浄機を設置	4,078,800	4,078,800	R2.11.20	R3.3.3	加湿空気清浄機(保育園9台、幼稚園4台、調理場2台、運動場2台、町民会館8台、図書館8台)、空気清浄機(小学校20台、中学校20台)、加湿器((小学校20台、中学校20台)、サーモマネージャー(博物館)を購入	施設内の空気の滞留防止と清浄化ができ、利用者の新型コロナウイルス感染症の感染機会の削減につながった。	生涯学習課
8	必需品供給事業	介護、障害事業所に感染防止対策用品を配布し支援する。	671,770	671,770	R2.6.22	R3.2.4	町内の介護事業所、障害事業所に感染防止対策用品を配布した。 ・手指消毒用ヒビスコール 1000ml入×103本 376,156円 ・マスク 50枚入×101箱 211,090円 ・プラ手袋 100枚入×12箱 4,920円 ・ゴム手袋 100枚入×41箱 46,904円 ・フェイスシールド 150枚 32,700円	感染防止対策用品の入手が困難な時期に、町内の24介護事業所、1障害事業所に配布できたことにより、従事者、サービス利用者の安心安全に貢献できた。	保健福祉課
9	公共的空間安全・安心確保事業	新型コロナ感染症感染防止対策のため、保育園乳児が散歩をする際に使用する接触を緩和することを目的としてお散歩カーを購入	270,000	270,000	R2.6.19	R2.7.16	乳児用のお散歩カーを2台購入	お散歩カーの台数を3台から2台増やすことで、1台に5人乗せていたが、3人に減らすなど、園児のお散歩の際、園児同士の接触が緩和されたこと、園外にお散歩に出かける機会が増え、園内での密を避けることにもつながった。	生涯学習課
10	越知町ひとり親家庭等支援特別助成金事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親家庭等を支援する観点から越知町に在住する児童扶養手当受給資格者等に対し、臨時特別の助成金を支給することにより、ひとり親家庭等に対する適切な配慮を行うことを目的とする。	787,133	787,133	R2.7.1	R3.1.25	越知町に在住する児童扶養手当受給資格者等に対し、対象児童1人当り10,000円を助成。 郵送料 9,240円 事務用品 7,893円	新型コロナウイルス感染症予防対策による児童扶養手当受給資格者等の経済的負担を軽減することができた。 対象児童77名×10,000円=770,000円 受給世帯数55世帯	住民課
11	社会システム維持のための衛生確保事業	乳児、児童健診時の感染防止対策	377,263	377,263	R2.6.9	R2.8.5	乳幼児健診時の感染防止対策を実施した。 ・非接触体温計 1個 8,908円 ・フェイスシールド 30枚 6,540円 ・カラーマット 20枚 15,920円 ・ゴム手袋 100枚入×2箱 1,370円 ・不織布シートロール 1箱 1,298円 ・フラットシューズ 3枚 4,587円 ・サージカルガウン 20枚 5,580円 ・マスク 50枚入×10箱 17,580円 ・パーテーション 12枚 315,480円	乳幼児健診時の感染防止対策を徹底することで、クラスターが発生することなく、健診をする側も受ける側も安心して検診ができた。 乳幼児健診 実施日 9日/年間 受診乳幼児数 延121名 親子ふれあいサロン 実施日 8日/年間 参加者数(親子) 延71名	保健福祉課
12	社会システム維持のための衛生確保事業	総合健診、女性のがん検診時の感染防止対策	261,990	261,990	R2.6.9	R2.9.4	総合健診、女性のがん検診時の感染防止対策を実施した。 ・ゴム手袋 100枚入×5箱 4,774円 ・ドライタオル 100枚入×1箱 924円 ・不織布ドライタオル 100枚入×1箱 990円 ・手荷物台 1台 4,939円 ・不織布製キャップ 2箱 990円 ・サージカルガウン 50枚 13,950円 ・非接触体温計 1個 9,900円 ・マスク 50枚入×20箱 41,800円 ・消毒用エタノール 500ml入×10本 11,110円 ・ソフトキャップ 1箱 1,100円 ・手指消毒用ヒビスコール 10入×45本 164,340円 ・透明シート 7.3m 2,336円 ・ペーパータオル 200枚入×2箱 30個入×1箱 3,710円 ・アルコールタオル 80枚入×1個 70枚入×1個 1,127円	総合健診、女性のがん検診時の感染防止対策を徹底することで、コロナ以前の受診者数を大幅に下回ることなく、クラスターが発生することなく、健診をする側も受ける側も安心して検診ができた。 総合健診 実施日 5日/年間 受診実人数 865名 女性のがん検診 実施日 3日/年間 受診実人数 319名	保健福祉課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費(円)		事業始期	事業終期	事業実施内容	効果検証 (具体的に数値等を記入)	担当課
				交付金 充当額					
13	高知県休業等要請協力金事業	高知県実施の休業等要請に応じた県内中小企業または個人事業主の事業継続支援に対する負担金	2,000,000	2,000,000	R2.4.30	R2.9.7	緊急事態措置等による休業等の期間(令和2年4月24日～令和2年5月6日)において、高知県の要請に応じて休業等を行った県内中小企業または個人事業主に対し、1事業者当たり30万円(県20万円・町10万円)の協力金を県が支給、その協力金に対し、1事業者当たり10万円を負担	新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、高知県の休業等の要請に応じた事業者に対し、県と県内市町村が連携して協力金を支給することで事業継続に繋がった  支給件数:20件 負担金額:2,000,000円 (100,000円×20件)	産業課
14	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策補助金事業	店舗等に対し三密空間を防ぐために必要な備品や施設改修等に対する補助金。飲食業については、デリバリーを開始するために必要な備品も対象とする。(例:パーティション、空気清浄機、改修工事等)	6,134,000	6,134,000	R2.7.1	R2.11.16	新型コロナウイルス感染症拡大の防止のための、施設、店舗への備品や設備、機器の購入や、デリバリーなど新たな流通形態の構築、顧客の掘り起こし等に必要経費などをに対して最大20万円の補助金を交付	施設、店舗が新型コロナウイルス感染症対策をしたことにより、感染リスクが低減され、施設、店舗を安心して利用することができた  申請件数:39件 交付額:6,134,000円	産業課
15	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策給付金事業	店舗等に対し三密空間を防ぐために必要な対策を行う事業者に対する給付金。(例:マスクをしての営業、席を空けての営業、消毒液の設置等)	6,900,000	6,900,000	R2.7.1	R2.9.15	社会生活を支える事業者であって、事業の継続には3密(密閉・密集・密接)を避けることが困難である事業者のうち、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設・店舗の消毒などを行っている事業者に10万円を支給	施設・店舗における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策である消毒液等の購入負担が軽減され事業継続に繋がった  申請件数:69件 給付額:6,900,000円 (100,000円×69件)	産業課
16	越知町持続化給付金事業	事業の継続を支援することを目的とし、新型コロナウイルス感染症の影響により本年度3～5月のいずれか1月の売り上げが前年比で20%以上減少している事業者に対して、申請により一律20万円を給付	8,400,000	8,400,000	R2.7.1	R2.9.7	新型コロナウイルス感染症の影響を受け経営が苦しいが国の持続化給付金の対象とならない町内事業者に対して令和2年3月から5月のいずれか1月の売り上げが前年比で20%以上50%未満減少している事業者に対して、一律20万円を給付	新型コロナウイルス感染症の影響を受けているが、国の持続化給付金の対象とならない事業者に対して経営持続対策を実施することができた  申請件数:42件 給付額:8,400,000円 (200,000円×42事業者)	産業課
17	仁淀川アクティビティ体験・レビュー事業	越知町の体験メニューを高知県民が体験し、高知の魅力を発信	1,630,600	1,630,600	R2.6.11	R3.3.1	コロナウイルス感染症の影響を受けている町内のアクティビティ事業者の支援のため、高知県民に越知町のアクティビティを利用してもらい、地域の魅力や体験をSNSを通じて世界に発信してもらうことで半額で利用できるキャンペーンを実施。事業者が負担した半額分の補助金を支給した。	マイクロツーリズムが旅のスタイルの一つとなったことで、近すぎて利用することがなかった高知県民が半額になったことで、利用しやすくなり、さらにSNSで発信してくれたことで、アフターコロナ後の集客PRに繋がった  アクティビティ : 559名利用	企画課
18	宮の前公園環境整備事業	宮の前公園コスモス畑の整備費用を支援する	750,000	750,000	R2.9.17	R3.1.13	越知町で秋に開催されるコスモスまつりが、コロナウイルス感染症の影響を受けて、飲食のイベントができなくなった。コスモスは育てて、観光客に楽しんでもらえるように、会場である宮の前公園のコスモス畑の整備費用を支援する	会場である宮の前公園のコスモス畑の整備ができ、飲食のイベントはなくても、花だけを楽しむ、コスモスまつりが開催できた  観光協会補助金 750,000円	企画課
19	宿泊体験・レビュー事業	町内宿泊事業者の早期の施設運営の安定と地域住民の健康維持	2,778,099	2,778,099	R2.6.11	R3.3.1	コロナウイルス感染症の影響を受けている町内の宿泊事業者の支援のため、高知県民に越知町の宿泊施設を利用してもらい、地域の魅力や体験をSNSを通じて世界に発信してもらうことで半額で利用できるキャンペーンを実施。事業者が負担した半額分の補助金を支給した。	マイクロツーリズムが旅のスタイルの一つとなったことで、近すぎて利用することがなかった高知県民が半額になったことで、利用しやすくなり、さらにSNSで発信してくれたことで、アフターコロナ後の集客PRに繋がった  宿泊 : 1,455名利用	企画課
20	防災活動支援事業	避難所での感染予防対策	4,144,196	2,072,196	R2.4.20	R3.3.25	避難所での感染予防対策 マスク・間仕切り・消毒液・手袋・エプロン・液体石鹸・ペーパータオル・簡易ベッド・パーティションを購入	各避難所における新型コロナウイルスの感染を防ぐため、消耗品・備品を購入したことより、避難者の感染リスクの低減対策となった。	危機管理課
21	公共的空間安全・安心確保事業	新型コロナ感染症感染防止対策用品購入	749,726	749,726	R2.5.1	R3.3.31	(小中学校) ディスペンサー 130,023円 アルコール消毒液 105,787円 マスク 86,845円 非接触体温計 82,500円 その他、除菌シート、ハンドソープ、ペーパータオル等	マスクや消毒液等の衛生用品を購入することで、手指消毒などの感染症対策を的確に行うことができた。	生涯学習課
22	学校の臨時休業に伴う学習等への支援事業	新型コロナ感染症対応等で4～5月の休校措置に対する学力補完及び今後休校措置となった場合、家庭学習で活用するための学習用ドリル購入	193,701	193,701	R2.6.16	R2.7.20	(小学校) 学習用ドリル購入(対象:3～6年生) 3年生 32冊 4年生 39冊 5年生 32冊 6年生 30冊	コロナ感染症により休校となった場合にも、家庭学習で使用できるように学習用ドリルを購入し、急遽の休校に対応できるように備えた。また、4～5月の休校によって学習の遅れも見られたが、家庭学習等で利用することで遅れを取りもどすことにも役立った。	生涯学習課
23	子育て世帯支援活動事業	新型コロナ感染症対応等で休校措置となり、保護者負担も増えたことにより、高校生を対象として1人20,000円を支給することで家庭を支援	2,480,000	480,000	R2.7.13	R2.10.15	高等学校休校在宅支援助成金の支給(高校生124名) 20,000円×124名=2,480,000円	家計の負担が増加した家庭に対して、20,000円を支給することで、保護者の経済的負担軽減につなげることができた。	生涯学習課
24	子育て世帯支援活動事業	新型コロナ感染症対応等で休校措置となり、保護者負担も増えたことにより、1学期分の給食費(副食費)を免除することで家庭を支援	5,809,008	5,809,008	R2.6.25	R2.8.31	保育園・幼稚園・小学校・中学校の1学期分の給食費(副食費)を免除する。	臨時休校が続き、子育て世帯の経済的負担が増す中で、給食費(副食費)を免除したことにより、保護者の経済負担の軽減ができ、子育て支援につながった。	生涯学習課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費 (円)	交付金 充当額	事業 始期	事業 終期	事業実施内容	効果検証 (具体的に数値等を記入)	担当課
25	公共的空間安全・安心確保事業	新型コロナ感染症感染防止対策のため、トイレ衛生環境整備	1,020,269	1,020,269	R2.6.17	R3.3.31	①保育園(2台)と幼稚園(1台)のトイレ改修(暖房便座取付) ②小学校トイレ掃除委託 ③役場庁舎内トイレの手洗いに自動水栓(7ヶ所)を設置	①暖房便座を取り付けることにより、園児のトイレトレーニングを冬季にもスムーズに行えるようになり、新型コロナウイルス感染症感染防止対策としてトイレの換気を行えるようになった。 ②これまで児童が行っていたトイレ掃除を委託することにより、コロナ感染症の拡大防止と衛生的なトイレ環境を保つことができた。 ③庁舎内における新型コロナウイルスの感染を防ぐため、手洗い場の蛇口を自動化。職員や来庁者間のクラスター等の感染拡大防止対策と感染リスクの低減対策に繋がった。R4.12月現在 職員内で約50件の感染者及び濃厚接触者が発生しているが庁舎内でのクラスターは発生していない。	総務課 生涯学習課
26	GIGAスクール構想への支援事業	ギガスクール事業に係るソフトウェア・機器購入等環境整備	27,118,520	14,206,470	R2.9.1	R3.3.31	一人一台端末を整備しGIGAスクール構想を推進していくために、全児童生徒教職員分を整備する。同時に授業支援ソフトやデジタルドリルも整備する。  タブレット等(310台) 26,613,400円 教育PC再リース 505,120円	タブレットを100%整備することで、オンライン学習や、誰も取り残さない個別最適化された授業ができる環境が整った。 授業支援ソフトを導入することで、児童生徒同士の意見の共有が簡単になり、授業の進め方の幅が広がった。 デジタルドリルを導入することで、少しの時間で予習復習ができるようになった。	生涯学習課
27	公共交通(バス、鉄道、旅客船、航空等)応援事業	交通事業者の環境整備 ゴミ集積場所の軒先に椅子を置きバスを待っているため、ゴミが感染の原因となることが考えられるので待合所とゴミ集積所を分離したバス停を設置し、町民バスの利用喚起に繋げる。	692,000	692,000	R2.8.5	R2.11.6	ゴミ等からの感染リスクを抑えるためにバス待合室とゴミ収集施設を分離した待合所を設置	バス停の利用者(R2:148人・R3:138人・R4.11末現在:87人)からも、コロナ感染者が発生していない。	総務課
29	地域公共交通機関の高度化支援事業	交通事業者の環境整備 町民バス用車両を1台購入し車両を2台から3台とすることで、便数を増やし、1台あたりの乗車人数を抑えることや、運行に支障を与えず車両消毒等が行えるようにして利用喚起に繋げる。 また貸し切りバスとしても利用できる車両とすることで、交通事業者の経営を支援し地域公共交通を守る。	5,522,662	5,522,662	R2.8.5	R2.11.27	町民バスに利用可能な車両を1台購入。	車内除菌の作業を確実に実施し、バスの利用者のクラスターは0件 購入バスの利用者及び運行実績 R3年24日224人・R4年中15日125人	総務課
31	地域づくり支援事業	イベント等の中止・延期によって衰退した集落の活力の回復を行うとともに、3蜜回避のための備品等を購入し、地域経済の回復を図る。また、あわせて小さな拠点活動の取り組みを促進する。	880,000	880,000	R2.9.16	R3.3.25	各地区で実施している地区運動会等のイベントにおいて、新型コロナウイルス感染予防対策のため、観客席のスペースを広く確保するイベント用テント等の購入を補助 横島西部地区:228,000円 明治地区:360,000円 野老山地区:292,000円	各地区で中止や規模縮小(地区住民限定)になっていた地区運動会等のイベントが、徐々にコロナ前までの規模に戻りつつある。 人口減少・高齢化が進む地区において、一度中止や規模縮小になってしまおう再開するパワーが少ない現状であるが、こういった補助を行うことで、再開する後押しにもなった。	企画課
36	ふるさとを遠くで見守る応援事業	コロナの影響によりアルバイトに行けなくなり、さらなる厳しい生活を余儀なくされた奨学金を利用している学生へ、町内業者の品物を贈呈することにより、学生の生活負担の軽減、そして最終的にはふるさと納税を通じての関係人口の増加につなげる。したがって、町内業者の選定はふるさと納税返礼品の取扱業者に限り、コロナの影響を受けた業者の売上にもつなげる	557,604	557,604	R2.9.1	R3.3.26	アルバイトにいけなくなった学生に対して、生活物資(食品・日用品)をおくことで、学生の負担軽減とコロナにより影響を受けた事業者の売上アップにつながった。  品物代:410,590円 送料:157,274円 合計:567,864円	生活物資を支援することで、学生1名あたり12,000円の負担軽減につながった。また学生間の交流もウイズコロナにより回復している中で他の自治体にはなく、地元の自治体自分たちを見ていることで地元愛につながった。  申込者:38名	企画課
37	在宅勤務支援事業	新しい生活様式など順応するため、庁舎内にテレワーク導入に向けた機器等を整備する。 外部からグループウェアにアクセスすることでメール・掲示板・スケジュール・施設予約などが行えるようにするとともに、セキュリティ機器の増強を行う また遠隔会議等に対応するためのWEBカメラ・マイク、ノートパソコン、プロジェクター・スクリーン等を整備する。	183,348	183,348	R2.7.31	R2.12.28	テレワークの準備及び遠隔会議などに対応するため、消耗品の購入や既存ネットワーク機器の増強を行う。  ファイアウォール 1台 103,400円 オンライン会議用消耗品(ヘッドセット・Webカメラ・アダプタ) 54,164円 オンライン会議用スクリーン 25,784円	遠隔会議を行えるようヘッドセット・Webカメラなどを整備することで打合せなどを現地に行かなくても自席から行えるようになり、コロナ感染拡大のリスク減少に繋がった。 (オンライン会議用消耗品:約60回の使用) また、会場に集まって打合せをする必要がある際は、大型モニターを活用することで、参加者のソーシャルディスタンス確保に繋がった。 オンラインでの会議や研修が増えたことで、ネットワーク機器の負荷が増加し、通信が不安定になり、落ちる事があったため、ネットワーク機器の増強を行い、新しい生活様式に対応できるよう設備を強化した。	総務課
38	越知町プレミアム付き商品券事業	本町の住民基本台帳に記載されている人をを対象にプレミアム付き商品券を販売し、町内の落ち込んだ消費の回復を図る。	10,496,344	10,496,344	R2.10.1	R3.3.31	新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛や営業自粛により、売上が減少した町内の事業者の事業持続化を促進し、低迷した町内の消費活動を喚起し、町内経済の早期回復を図ることを目的に、迅速かつ即効性のある対策としてのおち家の絆プロジェクトプレミアム付商品券事業を実施  商品券:1冊額面5,000円の商品券を4,000円で販売 発行冊数:10,000冊 使用期間:令和2年12月1日～令和3年2月28日	新型コロナウイルス感染症により売上が減少した町内事業者の継続支援とともに住民生活支援をすることができた  販売冊数:7,727冊 販売額(4,000円/冊):30,908,000円 委託費:10,496,344円 換金(1,000円分) 7,727,000 事務費等:2,769,344	産業課
42	観光地魅力増進事業	今後の観光地のインバウンド対策として多言語対応看板、和式トイレを洋式トイレに取替え	2,489,693	1,943,693	R2.8.28	R3.3.31	アフターコロナ後のインバウンド対策として、コロナウイルス感染症の対策も考えたトイレの洋式化と、多言語対応の看板設置  観光地トイレ洋式化 便座クリーナー取付 1,670,693円 観光地 看板設置・旧看板撤去 599,000円 観光地看板デザイン料 220,000円  合計 2,489,693円	観光地のインバウンド対策として、トイレの洋式化と、多言語対応看板を設置することができ、受け入れ体制が整った	企画課
43	防災活動支援事業	避難所での感染予防対策	551,760	184,760	R2.4.20	R3.3.25	避難所での感染予防対策 間仕切り・段ボールベッドを購入	各避難所における新型コロナウイルスの感染を防ぐため、消耗品・備品を購入したことにより、避難者の感染リスクの低減対策となった。	危機管理課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費 (円)	交付金 充当額	事業 始期	事業 終期	事業実施内容	効果検証 (具体的に数値等を記入)	担当課
48	防災活動支援事業	避難所での感染予防対策	2,390,690	1,195,690	R2.4.20	R3.3.25	避難所での感染予防対策 段ボールベッド・体温計・隔離用テント・ゴミ箱・ゴミ袋・長靴・サーキュレーターを購入	各避難所における新型コロナウイルスの感染を防ぐため、消耗品・備品を購入したことより、避難者の感染リスクの低減対策となった。	危機管理課
50	在宅勤務支援事業	新しい生活様式に対応するため、町内全域に光回線ネットワーク環境を整備する。 総務省の高度無線環境整備事業と同時整備。	297,257,746	206,289,567	R2.10.12	R4.3.31	令和2年度無線システム普及支援事業費等補助金を活用した光ファイバー整備事業の地方単独事業分。 ①民間での整備が困難な未整備エリアの光化を行い、町内の情報インフラ格差解消を行う。 ②民間事業者にて整備済みエリアにおいても、解約待ちなど芯線数が不足しているエリアなどあるため設備の増強を行い、新しい生活様式に対応できるようにする。 整備する芯線数は、あらかじめ町内全域にアンケートを配布し、利用したいと回答のあった世帯数をカバーできる芯線数を目標とする。	町内全域に光ファイバーを整備することで情報格差解消につながった。 民間事業者整備エリアにおいても光の需要が増加していたが、設備が足りず、使えない人がいたため、今回整備することで設備の増強を行い、インターネットサービスに申し込めない人の解消に繋がった。 R4.11.31時点の申込件数:553件 R2年度実施のアンケートで利用すると回答があった件数との比率 553/667(82.9%)	総務課
51	公共的空間安全・安心確保事業	新型コロナ感染症対応等で教室等の窓を開け換気をする機会が増えるため、虫除け対策として網戸を設置	1,521,300	1,521,300	R2.10.16	R2.12.11	網戸設置工事 保育園 34枚 550,000円 小学校 104枚 693,000円 中学校 42枚 278,300円	虫除けに網戸を設置することで、窓を開けて換気することが可能になり、新型コロナウイルス感染症の感染機会の削減につながった。	生涯学習課
52	公共的空間安全・安心確保事業	新型コロナ感染症対策として、学年を分散して授業を行うことや職員が部屋を分けて業務を行うこと、更に吹奏楽部等の部活動において部屋を分散するなど、3密を避けた学校運営をするため、エアコンが設置されていない特別教室にエアコン設置	7,700,000	7,700,000	R2.9.7	R2.11.27	(中学校) エアコン増設工事 7,700,000円 【理科室2台、美術室2台】	エアコンを設置することで、夏場、高温になる教室でも熱中症を予防できたとともに、効果的に換気を行うことでコロナ感染のリスクを下げることができた。	生涯学習課
53	修学旅行支援事業	新型コロナ感染症対策として、修学旅行において移動するバスの中での密をさけるため、大型バスの借上げ台数を1台増やして対応。・コロナ感染症により延期となった修学旅行中の引率にかかる入館料と保険料。・新型コロナ感染症により修学旅行がキャンセルとなった場合に費用を負担する。	224,000	224,000	R2.9.7	R2.10.29	(小学校修学旅行) 【貸切バス1台補助】 修学旅行補助金 199,000円 【引率者入館料等】 ラフティング体験料 19,360円 足摺海洋館入館料 5,640円	修学旅行での貸切バス1台分を補助することにより、保護者負担の軽減を図るとともに、バス内での密を避け感染症対策に効果があった。	生涯学習課
54	教育支援体制整備事業費補助金	補修習等のための指導員等派遣事業 新型コロナ感染症対策として、学年を分散して授業を行うことや補習授業及び家庭学習の充実を図るため、学習支援員を増員	2,513,559	1,005,559	R2.8.24	R3.3.31	新型コロナウイルス感染症対策として、人数の多い学級を2つに分けて授業をしたり、休校等の影響により学習面の遅れが目立つ児童生徒の支援などのために学習支援員を増員して対応する。	・小学校2人増員 ・中学校1人増員 新型コロナウイルス感染症対策として、人数の多い学級を2つに分けて授業を行うことができた。 休校の影響により学習の遅れが目立つ児童生徒の支援をすることにより、通常のカリキュラムに近づけることができた。	生涯学習課
55	越知町営業時間短縮要請協力金	高知県が実施する営業時間短縮要請に応じた町内事業者に対して上乗せする協力金	3,830,000	3,830,000	R2.12.18	R3.2.25	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて高知県が実施する営業時間短縮要請(令和2年12月16日～令和3年1月11日)に応じて、感染症拡大予防ガイドラインを遵守し、協力した町内の中小企業、個人事業者等に町独自で県協力金に1日当たり1万円を上乗せし、協力した事業者等を支援する  営業時間短縮要請期間 最大27日 令和2年12月16日～令和3年1月11日	新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、年末年始の高知県の休業等の要請に応じた事業者に対し、県と町が協力金を支給することで事業継続に繋がった  支給件数:18件 負担金額:3,830,000円	産業課
56	高知県中山間地域生活支援総合補助金負担金	県内広域で移動販売事業を実施する事業者に対して、高知県が実施する新型コロナウイルス感染症対策に対応した移動販売車両の購入支援に対する負担金	1,393,000	1,393,000	R3.4.1	R4.3.30	県内広域で移動販売事業を実施する事業者に対して、高知県が実施する新型コロナウイルス感染症対策に対応した移動販売車両の購入支援に対する負担金  越知町巡回地区 10地区	中山間地域の高齢者などの買物難民が安心して買い物ができる移動販売車が整備された  移動販売車両購入 6台×10,450,000=62,700,000円 関係市町村負担金 20,900,000円 越知町負担金 1,393,000円	産業課
59	越知町屋外観光施設等緊急整備事業	新しい生活様式に対応した屋外観光施策の充実を図り、観光客の満足度の向上を目指すとともにさらなる交流人口の拡大へつなげる	85,266,907	4,700,000	R3.1.22	R4.2.25	【横倉山自然の森博物館】 横倉山自然の森博物館外壁等改修工事  【本村キャンプ場】 本村キャンプ場は、ラフティングの発地点として、またキャンパーが利用する清潔なトイレ、炊事場の整備、また、キャンプ場からトイレまでの道の造成を行ったことで、車でトイレ付近まで行けるように整備を行う。  用地測量委託費 3,454,000円 トイレ設計委託費 847,000円 トイレ監理業務委託費 2,310,000円 トイレ新築工事 25,815,900円 造成工事 4,961,000円 合計 37,387,900円	【横倉山自然の森博物館】 外壁改修や外階段の滑り止め(バリアフリー化)を行ったことにより、観光客の受け入れ体制が整備され来館者が増加し観光需要の回復に繋がった。 (来館者数) R2.10～R3.6:5,540人 R3.10～R4.6:6,970人(1,430人増)  【本村キャンプ場】 清潔なトイレ、炊事場の整備をしたことで、土、日、祝日、または夏休みには、たくさんの方がキャンプ場を利用している。 また、トイレ付近まで造成工事を行ったことで、高齢者や足の不自由な方など、これまでアウトドアを楽しむために障壁のあった層にも安心して楽しんでもらえる環境が整った。	企画課 生涯学習課
60	宿泊、アクティビティ体験・レビュー事業	町内宿泊事業者、アクティビティ事業者の早期の施設運営の安定と県民の健康維持、越知町の魅力を発信	90,475	90,475	R3.4.20	R3.7.5	コロナウイルス感染症の影響を受けている町内のアクティビティ事業者の支援のため、高知県民に越知町のアクティビティを利用してもらい、地域の魅力や体験をSNSを通じて世界に発信してもらうことで半額で利用できるキャンペーンを実施。 チラシデザイン 71,500円 チラシ印刷代 18,975円 合計 90,475円	マイクロツーリズムが旅のスタイルの一つとなったことで、近すぎて利用することがなかった高知県民が半額キャンペーンになったことで利用しやすくなり、さらにSNSで発信してくれたことで、アフターコロナ後の集客PRIに繋がった。  宿泊 1,455人 アクティビティ 559人 合計 2,014人 利用	企画課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費 (円)	交付金 充当額	事業 始期	事業 終期	事業実施内容	効果検証 (具体的に数値等を記入)	担当課
61	お食事クーポン事業	越知町の宿泊やアクティビティのレビュー事業を利用した高知県民に町内飲食店で使えるクーポンを提供	308,245	308,245	R3.3.12	R4.3.15	宿泊、アクティビティ体験・レビュー事業に参加した者に加入店で使える500円の食事クーポンを配布 商工会に委託 308,245円 クーポン券、ポスター印刷 クーポン券加入店の募集 クーポン換金業務	宿泊、アクティビティ体験・レビュー事業に参加した者に加入店で使える食事クーポンを配布したことにより、町での周遊時間が増え、コロナの影響を受けていた町内の飲食事業者への支援にも繋がった。 クーポン利用枚数 329枚	企画課
64	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業 新型コロナ感染症防止対策を講じながら、児童生徒の学びの保障に必要な体制の強化支援	2,000,000	1,000,000	R2.7.29	R3.3.12	(小中学校) 飛沫防止ガード、パーテーション 359,080円 天井扇風機 185,900円 ポリッシュャー 172,260円 非接触体温計 166,000円 その他、会議用テーブル、両面ホワイトボード等	飛沫対策のための備品や、掃除機器などを購入することにより、施設内の衛生環境を清潔に保つことができ、感染リスクの軽減に繋がることができた。	生涯学習課
65	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業 新型コロナ感染症防止対策を講じながら、児童生徒の学びの保障に必要な体制の強化支援	1,603,389	800,000	R3.4.2	R4.2.22	(小中学校) 大型モニター 295,900円 サーマルカメラ 255,750円 ポータブルアンプ206,250円 一輪車 107,250円 スポットクーラー 87,780円 冷蔵庫 56,980円 非接触体温計付オートディスペンサー50,400円 等	サーマルカメラや非接触体温計付オートディスペンサーの購入により、生徒や教職員の体温管理、発熱者の早期発見につながり、感染拡大を防止することができた。また、大型液晶モニターやポータブルアンプを購入し、授業で活用することにより、分散授業や児童同士の距離をとることができ、密対策に役立った。	生涯学習課
66	学校保健特別対策事業費補助金	感染症対策のためのマスク等購入支援事業 新型コロナ感染症感染防止対策用品購入	96,503	48,503	R2.6.11	R2.11.27	アルコール消毒液 56,903円 非接触体温計 39,600円	衛生消耗品や体温計等を購入し、感染症対策を実施することで、児童生徒が安心して学ぶことができる体制整備を図ることができた。	生涯学習課
67	公共的空間安全・安心確保事業	児童が学校図書館を利用する際、密になることを防ぐため、ブックラックで各教室に本を貸し出し、学級文庫として利用する。その他、密対策として会議用テーブル10台と職員室電話機・通信料。	403,976	403,976	R2.10.6	R3.3.31	会議用テーブル 10台 352,000円 電話機 1台 30,250円 通信運搬費 21,726円	会議用テーブルを購入し、台数を増やすことで、会議や授業において人との距離をとることができた。密を避けることにより、感染症対策につながった。 また、コロナ対応のために、保護者や関係機関との連絡・調整が多く必要となったが、既存の電話機だけでは足りなかったため、電話機を1台	生涯学習課
68	無線システム普及支援事業費等補助金	新しい生活様式に対応するため、町内全域に光回線ネットワーク環境を整備する。	102,590,911	41,036,000	R2.10.12	R3.9.30	令和2年度無線システム普及支援事業費等補助金を活用した光ファイバー整備事業の地方単独事業分。 ①民間での整備が困難な未整備エリアの光化を行い、町内の情報インフラ格差解消を行う。 ②民間事業者にて整備済みエリアにおいても、解約待ちなど芯線数が不足しているエリアなどあるため設備の増強を行い、新しい生活様式に対応できるようにする。 整備する芯線数は、あらかじめ町内全域にアンケートを配布し、利用したいと回答のあった世帯数をカバーできる芯線数を目標とする。	町内全域に光ファイバーを整備することで情報格差解消につながった。民間事業者整備エリアにおいても光の需要が増加していたが、設備が足りず、使えない人がいたため、今回整備することで設備の増強を行い、インターネットサービスに申し込めない人の解消に繋がった。 R4.11.31時点の申込件数:553件 R2年度実施のアンケートで利用すると回答があった件数との比率 553/667(82.9%)	総務課
69	無線システム普及支援事業費等補助金	新しい生活様式に対応するため、町内全域に光回線ネットワーク環境を整備する。	135,332,143	54,132,000	R3.1.20	R4.3.31	令和2年度無線システム普及支援事業費等補助金を活用した光ファイバー整備事業の地方単独事業分。 ①民間での整備が困難な未整備エリアの光化を行い、町内の情報インフラ格差解消を行う。 ②民間事業者にて整備済みエリアにおいても、解約待ちなど芯線数が不足しているエリアなどあるため設備の増強を行い、新しい生活様式に対応できるようにする。 整備する芯線数は、あらかじめ町内全域にアンケートを配布し、利用したいと回答のあった世帯数をカバーできる芯線数を目標とする。	町内全域に光ファイバーを整備することで情報格差解消につながった。民間事業者整備エリアにおいても光の需要が増加していたが、設備が足りず、使えない人がいたため、今回整備することで設備の増強を行い、インターネットサービスに申し込めない人の解消に繋がった。 R4.11.31時点の申込件数:553件 R2年度実施のアンケートで利用すると回答があった件数との比率 553/667(82.9%)	総務課
71	越知町営業時間短縮要請対応臨時給付金	高知県が実施する営業時間短縮要請対応臨時給付金の対象とならない、令和2年12月、令和3年1月の前年比20%以上30%未満の事業者又は営業時間短縮要請対応臨時給付金の受給者で県が給付した金額では、売上減が補えない事業者に対して給付	1,999,617	1,999,617	R3.2.8	R3.6.7	高知県が実施する営業時間短縮要請対応臨時給付金の対象とならない、令和2年12月、令和3年1月の前年比20%以上30%未満の事業者又は営業時間短縮要請対応臨時給付金の受給者で県が給付した金額では、売上減が補えない事業者に対して給付 法人 40万円以内(売上減少額以内) 個人 20万円以内(売上減少額以内)	高知県が実施した令和2年12月16日から令和3年1月11日までの時間短縮要請に伴い営業時間を短縮した飲食店等と直接間接的に取引があった事業者または外出・移動の自粛により直接・間接的な影響を受けた事業者に対して支援をすることができた。 法人 3事業者 575,753円 個人 8事業者 1,423,864円	産業課
73	公立学校情報機器整備費補助金	学校からの遠隔学習機能の強化事業 休校になったとき等学校から遠隔学習ができるようにウェブカメラなどを整備する。	138,820	103,820	R3.1.14	R3.2.9	新型コロナウイルス感染症対策として、学校が休校になった際に、遠隔学習ができるように、ウェブカメラ、等を整備する。 ウェブカメラ 4台×8,635円=34,540円 三脚 4台×2,189円=8,756円 書画カメラ 4台×20,009円=80,036円 USBマイク 4台×2,376円=9,504円 USB延長ケーブル 4本×1,496円 計138,820円	令和2年度は、整備後休校することはなかったため、遠隔学習を実施する機会はなかったが、教職員の研修がウェブ会議形式が多くなり、ウェブカメラ等を活用することができた。	生涯学習課
74	公立学校情報機器整備費補助金	GIGAスクールサポーター配置支援事業 学校現場にてGIGAスクール事業に対応する。	443,190	222,190	R3.2.17	R3.3.31	GIGAスクール構想に対応するためにGIGAスクールサポーターを配置する。小中学校合わせて1人配置し、学校現場でGIGAスクール機器の整備等をサポートしてもらう	GIGAスクールサポーターを人材派遣会社に派遣してもらうことで、「ITパスポート」などの資格を持つ専門性の高い人材を現場に配置することができた。 機器の不具合の切り分けが学校現場ででき、業者への不具合の説明が正確にできることで、早期の不具合解決につながった。(インターネットに繋がらないなどの原因特定など) デジタルドリルや授業支援ソフトの年次更新作業をってもらうことで、学校現場の負担軽減につながった。	生涯学習課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費 (円)		事業 始期	事業 終期	事業実施内容	効果検証 (具体的に数値等を記入)	担当課
				交付金 充当額					
75	子ども・子育て支援交付金	小学校一斉休校時に、1日中開所し子どもの居場所を確保する。(共働きで日中親がいない家庭など)	244,692	82,692	R2.4.13	R2.5.15	小学校の一斉休業時に日中の子どもの居場所を確保するために、学童保育を1日中開所する。	①休校期間令和2年4月13日～5月8日(開所日数17日) 利用人数のべ272人 ②分散登校令和2年5月11日～5月15日(開所日数5日) 利用人数のべ132人 保護者の仕事などで、日中子どもの居場所がない家庭は一定数おり、支援につながった。	生涯学習課